

## 質問書への回答

### 1. 本案件の位置づけにつきまして

本件は、貴庁で毎年実施されている「Mt. Fujiイノベーションキャンプ」の継続案件でしょうか。継続案件の場合、過去に参画された企業やスポンサーを採択後にご紹介いただくことは可能でしょうか。

また、これまで実施されてきたお取組みの実績及び、課題と感じていらっしゃる点がございましたら、ご教示いただけますでしょうか。

(回答)

仕様書にある「一般部門」は「Mt. Fujiイノベーションキャンプ」、「高校生部門」は「高校生起業チャレンジ事業“Y-NEXT”」の継続を想定しておりますが、仕様書の内容を満たしていれば、必ずしも過去の開催内容を継続させる必要がありません。

また、参画された企業やスポンサーの紹介については、仕様書に記載している「協創パートナー」及び「メンター」は、受託者のネットワークにより声をかけて集めていただくこととしておりますが、過去の開催と同一の「協創パートナー」及び「メンター」と連携する必要はありません。企画提案者が募集する参加者に対して、事業計画策定の支援に必要となる「協創パートナー」や「メンター」をお集めいただきますようお願いいたします。

※当課で考えている「協創パートナー」の定義は、本事業への参加者との積極的なディスカッションによりビジネスプランをブラッシュアップし、可能であれば協業やマッチングを目指していく企業のことを言います。

なお、協賛金をいただいている企業もありますが、当課から依頼しているわけではないので、紹介はできても協賛金をいただけるかは保証できません。

実績及び課題については、「一般部門」はこれまでに8回開催し、全国展開を果たすような企業も多数誕生しておりますが、年々、社会人の参加者が減少し、学生の参加が増加しており、学生の参加が社会人よりも多くなっている点が課題となっております。

「高校生部門」については、これまで参加がない高校からの参加や、参加高校生と県内企業との接点が更に増加してほしいと思っております。(参加チームの取組の状況、結果については次のサイトに審査会の動画のリンクがありますのでご確認ください。)

<https://www.y-next.website/news20220127/>

### 2. プレゼンテーション審査方法につきまして

#### 2-1. 実施形態

オンライン形式か、オフライン形式(貴庁に訪問する形か)かどちらになりますでしょうか。

(回答)

プレゼンテーションはオンライン形式の予定です。

#### 2-2. 時間帯

プレゼンテーションの時間帯をご教示いただけますでしょうか。

(回答)

4月21日(木) 午前10時~12時くらいを予定しております。

### 2-3. プレゼンテーション資料の形式

企画提案書類とは別で、別途プレゼンテーション用の資料（パワーポイント・A4横）を準備することは問題ないでしょうか。

（回答）

問題ありません。

### 3. 最終発表につきまして

#### 3-1. 実施形態

オンライン形式での実施は可能でしょうか。

（回答）

リアル形式と同等かそれ以上の効果が期待されるなら、オンライン形式での実施も可としています。

#### 3-2. オフライン実施の場合の配信方法

オフライン形式の場合、ライブ配信は必要でしょうか。また、ライブ配信を実施する場合、配信品質担保のため外部の専門業者に委託する必要はございますでしょうか。

（回答）

ライブ配信は必ずしも必要ではありません。なお、企画提案者の提案によりライブ配信を行うことも可能ですが、外部の専門業者に委託する必要はありません。

#### 3-3. 審査員

貴庁の推薦者がいらっしゃる場合、採択後にご紹介いただくことは可能でしょうか。

（回答）

審査員について、県庁からは特に推薦したい者はありません。